

2. 火山の概況

(平成 16 年 9 月 2 日 ~ 平成 16 年 9 月 8 日)

浅間山では今期間噴火はなかったが、多量の火山ガスの放出及び火口底の高温状態が継続している。火山活動度レベル(以下レベルと記載)は3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。



図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号				
37	9/2- 9/8	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆	●		●	
36	8/26- 9/1	②→③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		◆	
35	8/19- 8/25	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆	●		●	◆
34	8/12- 8/18	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	▲
33	8/5- 8/11	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●	

注1 記号の意味

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [火山ガス・熱・噴煙] レベル3 (山頂火口で小~中噴火が発生する可能性がある)

1日の噴火以降、噴火は発生していない。

3日に地上から、7日に陸上自衛隊の協力により上空から行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は、それぞれ900~2,400トン及び1,200~2,700トンと多い状態であった。この量は、2003年2月6日に微噴火が発生した後に観測された放出量と同程度である。

3日に航空機から行った赤外線カメラによる観測では、火口底の高温部が拡大していることが確認された。また、8日の夜間には国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所が設置している高感度カメラで、目に見えない程度の微弱な火映が見られた。

なお、噴煙のため火口内の形状については確認されていない。

噴煙活動は、山麓の監視カメラによると白色の噴煙が最高で火口縁上200mまで上がった。

地震活動は、噴火以降低調となり、振幅の小さい火山性地震は1日あたり4~21回、火山性微動は5日に2回発生した。

地殻変動には顕著な変動はなかった。

◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 800m であった。振幅の小さいやや低周波の地震は、1 日あたり 9～38 回とやや多い状態で推移した。

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル 2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

2 日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約 3 割、表面温度の最高は 71℃ (前期間は 82℃) で、火口壁の最高温度は前期間 (278℃) より下がったものの 187℃ と依然高温状態にあった。湯だまりの中央部、西側及び南側で高さ約 2～3 m、その他数ヶ所で高さ 1～2 m の土砂噴出が発生していた。

なお期間外であるが、9 日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、台風 18 号の降雨により湯だまり量が約 3 割から約 7 割に増加していた。湯だまりの色は灰白色で表面温度は 67℃ と依然として高く、湯だまりの中央部では高さ 2～3 m の小規模の土砂噴出が時々発生していた。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上 200m (前期間 400m) であった。

期間中、火山性連続微動が継続した。孤立型微動の発生回数は今期間 430 回であった (前期間は 476 回)。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ **雲仙岳 レベル 1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。2 日及び 8 日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上 100m であった。

◆ **桜島 レベル 2 (比較的静穏な噴火活動)**

期間中、噴火は発生しなかった (前期間もなし)。噴煙活動も低調で有色噴煙は観測されなかった。また、鹿児島地方気象台 (南岳の西南西約 11 km) で降灰は観測されなかった (前期間は 8 月 26 日及び 28 日に観測され降灰量は 0.5g/m²未満であった)。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 9 号	2 日 10:00	1 日の噴火後の状況 (地震少ない状態。噴火に伴って発生した微動及び傾斜計の変動は 1 時間程度で収まる)。レベルは 3。
	火山観測情報第 10 号	2 日 16:30	1 日の噴火後の状況 (地震少ない状態)。レベルは 3。
	火山観測情報第 11 号	3 日 16:00	地震の少ない状態継続。レベルは 3。
	火山観測情報第 12 号	4 日 16:00	地震の少ない状態継続。レベルは 3。
	火山観測情報第 13 号	5 日 16:00	地震の少ない状態継続。火山ガス観測結果。レベルは 3。
	火山観測情報第 14 号	6 日 16:00	地震の少ない状態継続。5 日に微動発生。レベルは 3。
	火山観測情報第 15 号	7 日 16:00	地震の少ない状態継続。レベルは 3。
三宅島	火山観測情報第 489 号 ↓ (1 日 2 回発表) 火山観測情報第 502 号	2 日 09:30 ↓ 8 日 16:30	活動経過ほか (噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	阿蘇山	火山観測情報第 44 号	3 日 11:00